

汚染水処理設備の信頼性向上工事について

平成24年2月27日
東京電力株式会社



東京電力

工事概要

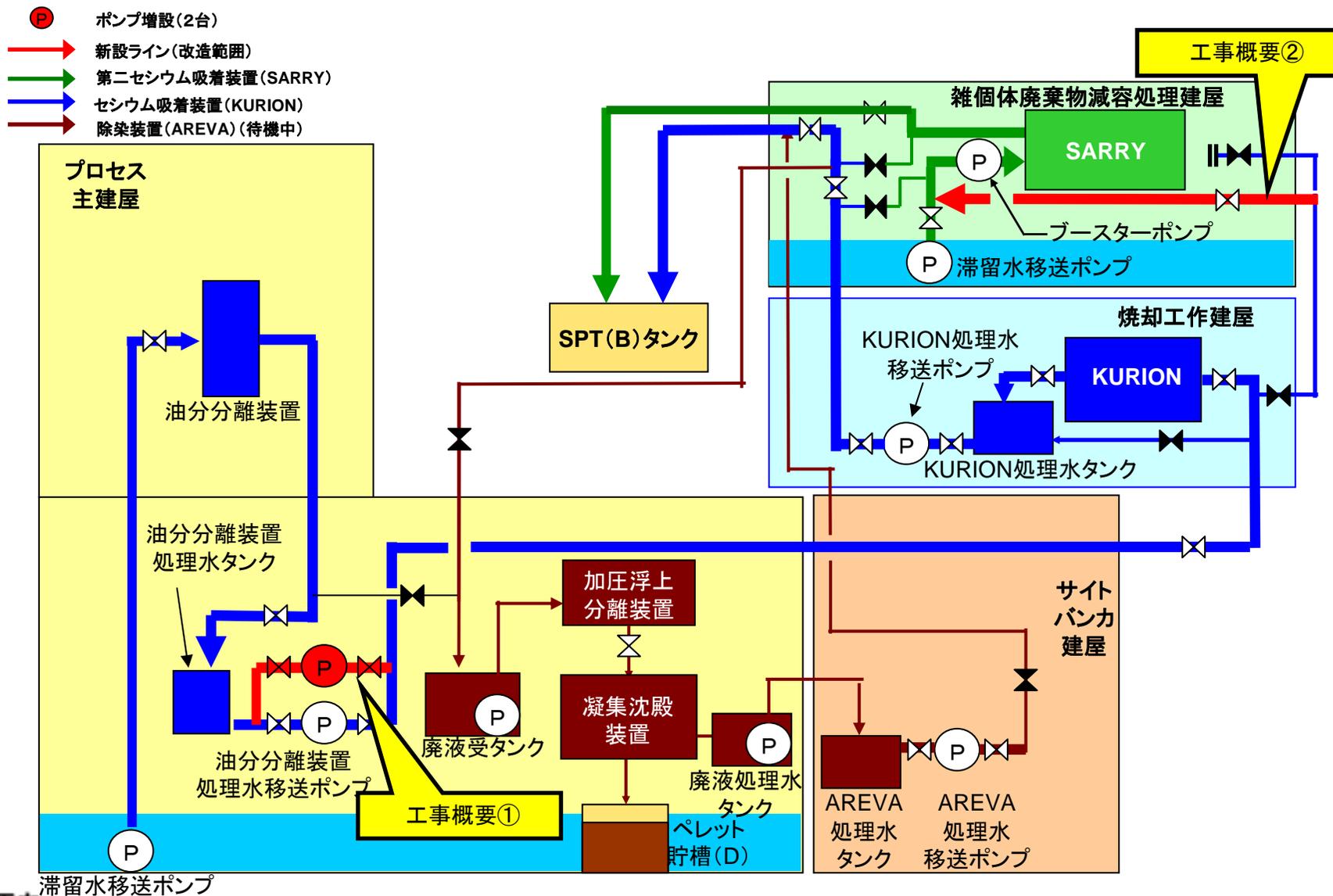
(1) 汚染水処理設備関連

- ①油分分離処理水移送ポンプ追設工事（保守・信頼性向上）
2台中1台が不具合により停止中であること、高線量エリアに設置されており保守性が悪いことから、移送ポンプ2台を低線量エリアに追設する。
- ②第二セシウム吸着装置（SARRY）移送ラインの新設工事（運用改善）
プロセス主建屋（PMB）の滞留水を、セシウム吸着装置（KURION）を経由せずにSARRYでも処理できるよう移送ラインを新設する。

(2) 第二セシウム吸着装置（SARRY）関連

- ③弁電動化及びポンプ・弁の遠隔操作化（運転操作性の向上）
雑个体廃棄物減容処理建屋（HTI）の滞留水移送ポンプ及びポンプ出口弁の操作を中央操作室（CCR）において遠隔操作可能とするため、弁電動化及びCCRに遠隔操作スイッチの設置を行う。
- ④一部配管改造（処理性能向上対策）
SARRY出口ラインの小口径配管部、金属製フレキシブルチューブを大口径配管に取替え、処理流量の裕度向上を図る。
- ⑤IAコンプレッサの追設（信頼性向上）
IAコンプレッサが故障停止しても、速やかにSARRYが再起動可能とするため予備のIAコンプレッサ1台を追設する。

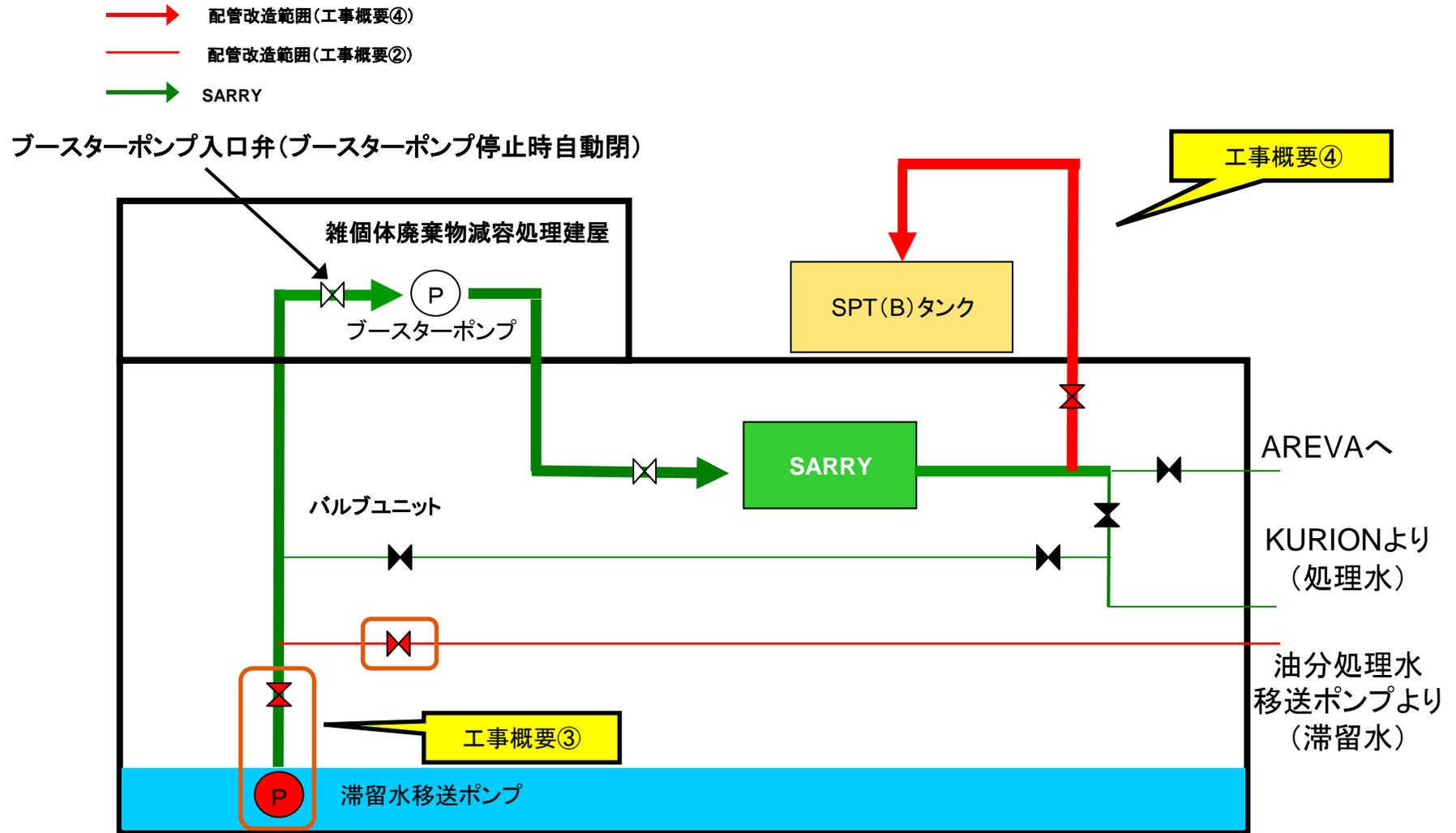
系統概略図 (1)



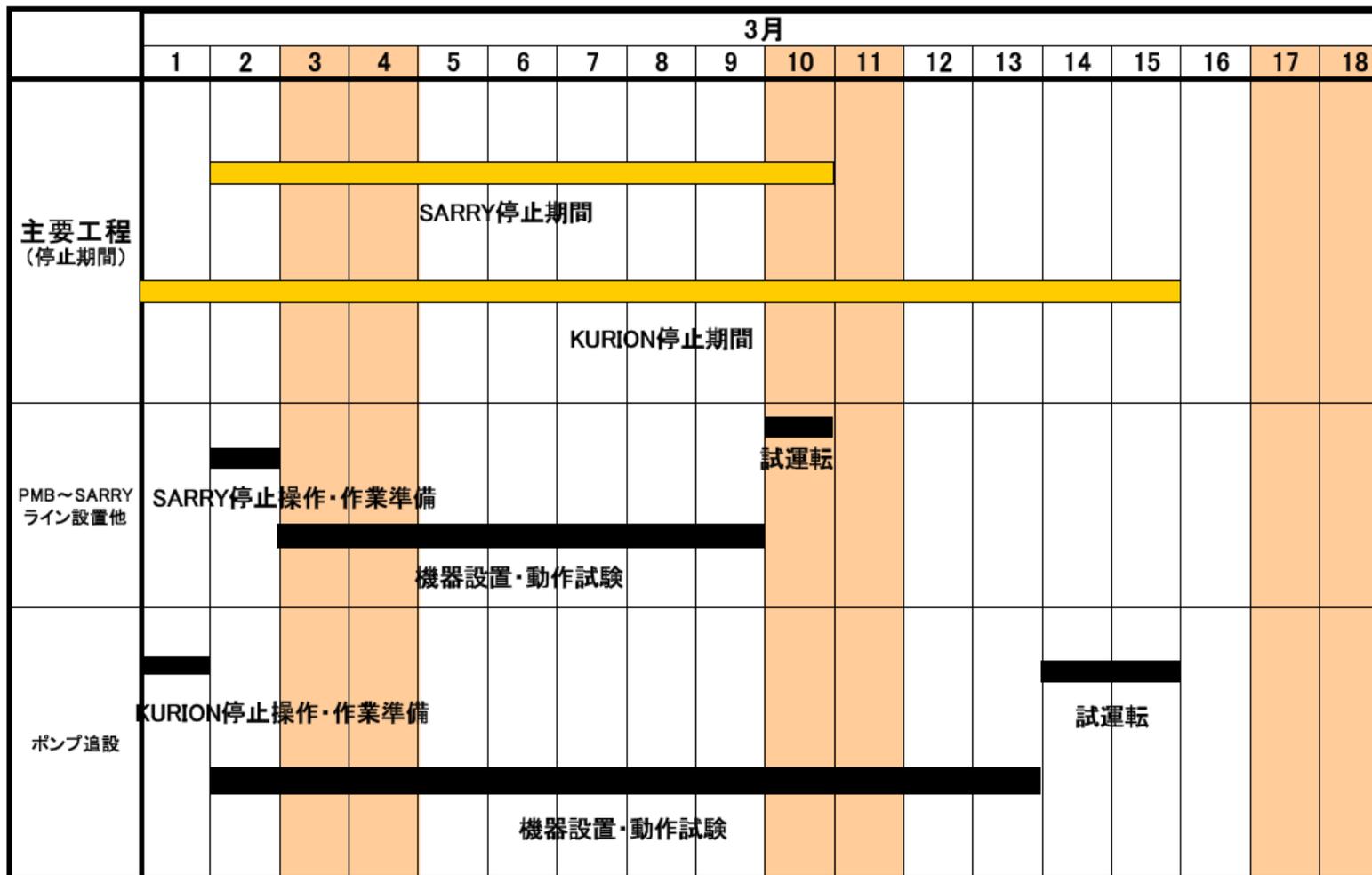
工事概要②

工事概要①

系統概略図 (2)



概略工程（計画）



- 処理装置運転停止期間中の各建屋水位は、制限値以内に維持可能。
- 配管接続作業中、緊急時には隔離弁を閉止し、直ちにKURIONの運転が可能。